

令和7年度第2回広島県FM連絡会議 開催報告

広島県FM連絡会議代表幹事：広島県

令和7年度第2回目の広島県FM連絡会議（自治体等FM連絡会議広島県地域会）を、令和7年10月10日（金）に尾道市役所において開催しました。当日は、広島県内の自治体から合計31名が参加しました。

尾道市主催で開催した本会議は、第1部の「FM研修」において、尾道市 企画財政部 財政課 財産管理係長 半田大介 様に、「尾道市のFM等の取組みについて」講演を実施していただき、参加した職員は会場でスクリーンに投影された資料を見ながら聴講しました。

半田様より、尾道市のFMの取組体制や公共施設総合管理計画の進捗及び今後の方針に加えて、尾道市における財産管理や有効活用に向けた手法などについて、多数の事例を交えて御説明いただきました。

また、中国財務局 管財部 管財総括第二課 国有財産総括専門官 梶谷祐二 様には、「山口県周南市における地方合同庁舎の建設について～エリマネ協議会を通じた取組み～」と題して、老朽化や分散配置といった課題を抱える周南市内の4官署を一体的に集約し、合同庁舎として整備を行う事業について、事業概要や事業採択までの経緯・選定事項、現在の取組状況などを御説明いただきました。

第2部では、参加自治体を2グループに分け、「今、公共FMで重点的に取り組んでいること」をテーマに、各市町の取組状況や課題について情報交換を行いました。各市町において実施されている具体的な事例の紹介に加え、共通する課題や悩みを共有しながら活発な意見交換が行われました。他市町の取組内容を直接伺うことができたことで、多くの気づきや今後の取組みのヒントを得られる貴重な場となりました。

今回の連絡会議は、平成26年度に設置以来、21回目となります。次回以降も、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントの拡大及び向上を目指した取り組みを進めていきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。